



太田研光 議員

Q 少年犯罪は防げるか

A 地域をあげて犯罪防止



将来を担う中学生

問 長崎市内で起きた幼児誘拐殺人事件は、我々に数多くの反省や教訓を残した。補導された生徒は、市内の立体駐車場に幼児を連れ出し、屋上から幼児を突き落として殺害したとされている。文部科学省は、学校の生徒指導で心の教育を呼びかけて来た。町は中学校の生徒に心の教育をどのような観点に立って実施していますか。長崎事件に関連して実施した事項があればお伺いします。町

内にも大型店舗ができ、油断したら幼児の誘拐が起きないとも限らない。これらの防犯対策は、町としてどう考えてますか。また、中学校保護者の会の話し合いは。

答 滝口町長 教育委員会や関係機関のなすべきことや、生徒指導対策会議の運用など、今後も根気良く続け、少年犯罪防止に努めてまいります。幼児誘拐事件の防止は、子どもが知らない人について行かないとか一人

遊びに行かない、誰かにつれて行かれそうになったら「助けて」と大きな声で叫ぶ、そういう防犯知識を普段から家庭で身に付けておくのが大事です。また、町として防犯実動隊による防犯パトロールに努めておりますが、誘拐事件の未然防止には不自然な子ども連れに対して声をかけるなど、地域社会全体で防犯活動に努める必要があると思

あなたにかわごと

町政を問う

ここが聞きたい

ズバリ



ここに掲載しました一般質問は、制限された文字数以内で質問した議員自身が、タイトル、質問文章、答弁文章をまとめています。